

第15回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成25年5月30日（木） 10：30－12：40
2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員
 - (2) 政府側
山本内閣府特命担当大臣（宇宙政策）、西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官
4. 議事要旨
山本大臣から、安倍総理も宇宙政策の重要性を十分にご認識頂いている旨言及があった上で、以下のような挨拶があった。
 - ・平成26年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針は、各府省の来年度概算要求の指針となるものであり、来週中にも関係府省に対しこの戦略的予算配分方針を示したいと考えている。
 - (1) 宇宙輸送システム部会、宇宙産業部会、宇宙科学・探査部会、調査分析部会からの報告
宇宙輸送システム部会からの報告について、資料1-1に基づいて山川部会長より、宇宙産業部会からの報告について資料1-2に基づいて事務局より、宇宙科学・探査部会からの報告について資料1-3に基づいて松井部会長より、調査分析部会からの報告について資料1-4に基づいて中須賀部会長よりそれぞれ報告を行った。
 - (2) 平成26年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針について
事務局から資料2に基づいて説明を行ったところ、本議題に対して、委員から以下のような意見等があった。
 - リモートセンシング衛星の新たな提案は、これまでの各省庁が各々実施していた取組みを一体化し、将来のビジョンを明らかにした点で大変重要である。
 - 提案されたリモートセンシング衛星の事業の名称は工夫した方が良い。また、既存の衛星も有効活用すべき。
 - 新たなロケットの開発について、目指すべきロケットの能力等について、輸送システム部会での審議状況について確認がなされた。
 - 宇宙科学・探査についてはロードマップ策定までの当面の考え方である点を明記すべき。

資料2については、本日、提出された意見を踏まえ、一部字句修正することで委員会として了承された。具体的な字句修正については、委員長に一任された。

以上